



10回、真道（左）にパンチを浴びせる藤岡

藤岡判定で初防衛

WBO女子バンタム級

世界ボクシング機構（WBO）女子タレントマッチ10回戦は13日、東京・後楽園ホールで行われ、昨年3階級制覇したバンタム級王者の藤岡奈穂子（竹原慎一&畑山隆則、大崎市出身）が挑戦者の真道（古川）（グリーンツタ）に3-0で判定勝ちし、初防衛に成功した。ジャッジの採点は98-91、97-92、98-91。アトム級王者の池山直

（フュチュール）は挑戦者の花形寿美（花形）と引き分けて4度目の防衛を果たし、自身の国内最年長防衛記録を46歳8カ月に更新した。採点は96-94、94-91。

巻き返して完勝 第一人者の貫禄

女子の第一人者の貫禄を示した。藤岡は1回にダウン寸前に追い込まれながらも、巻き返した。終わって

みれば大差の判定勝ちに「初防衛なので、ほっとした。1回で心が折れそうになったが、立て直せた」と涼しい顔で振り返った。2回に「目が覚めた」と反撃に出た。終盤にはラッシュで追い詰める。3回からは左右、上下で弾打を浴びせ、8回は右で倒した。元世界王者の挑戦者に完勝し「ピンチも経験し、ダウンも取れて収穫のある試合と充実感に浸った。昨年10月に日本ボクシングコミッション（JBC）の女子公認後、日本初の3階級制覇を達成した。体力や闘争心に衰えは感じさせず」（最強を）何度証明しても相手が出てくるので40歳、体を張って頑張る。5階級制覇へ負けるわけにはいかない。まだまだ健在で、もっと（上へ）いける。アピールしていきたい」と高らかに宣言した。

4階級制覇へ弾み



世界ボクシング機構（WBO）女子バンタム級タイトルマッチ10回戦が13日、東京・後楽園ホールで行われ、王者の藤岡奈穂子（竹原慎一&畑山隆則）が挑戦者の真道（古川）（グリーンツタ）に3-0で判定勝ちし、初防衛に成功した。ジャッジの採点は98-91、97-92、98-91。昨年10月、日本人女子選手初の3階級王者となった実力を見せつけ、真道を圧倒した。スタートは厳しい展開だった。第1ラウンドは真道に右ストレート

WBO女子世界バンタム級タイトルマッチ

藤岡（古川）初防衛に成功

真道を圧倒判定3-0

原&畑山）大崎市古川出身IIが挑戦者の真道（古川）に3-0の判定で勝ち初防衛に成功した。ジャッジの採点は98-91、97-92、98-91。昨年10月、日本人女子選手初の3階級王者となった実力を見せつけ、真道を圧倒した。スタートは厳しい展開だった。第1ラウンドは真道に右ストレート

トを決められ腰を落として、ダウン寸前のピンチに陥った。しかし第3ラウンドから持ち直して攻めに転じ、第8ラウンドには連打を浴びせてダウンを奪い、試合を決定付けた。

藤岡のプロでの戦績は16戦15勝（6KO）1敗。